

夏まつり

中学校生徒会のみなさんから花火募金の寄付いただきました。

但馬のトツをきって 八鹿のまつり

7月13日(土)・14日(日)、すっきりしない空模様ながら2万人の人出で賑わいました。今年は、屋外でのパレードと八鹿おどりを見直し、文化ホールで行いました。みなさんどうだったでしょう。パレードがないのはまつりらしくない、八鹿おどりを外で見られなかったのは残念・・・いろいろな声を聞きます。観客の立場で意見をされる方、主催者側運営する立場で考える方、・・・いろいろです。昨年の猛暑、また、今年各地で行われた夏イベントでの熱中症などを聞くと、大きな事故もなく2000発の花火、造りもの大会、昼イベント、露店市など20,000人の人出でみなさんに楽しんでいただき、120年の伝統をつなぐことが出来たことにほっとしています。多くの市民のみなさんのご協力に感謝申し上げます。

八鹿夏まつり実行委員会会長 石田知雅雄



小学生100人がダンスパフォーマンスで会場を盛り上げていただきました。



お諏訪さん屋岡神社に練り込み。これが八鹿夏まつりの始まり。



2000発 いかがだったでしょう

八鹿おどり 今年は舞台で40人が踊りました。



各区たんじいも巡行(仲町区)



造りもの 京口区がダイヤ賞受賞



スタンフラー景品に「サマージャンボ宝くじ」もあって好評です。



ロビーで消防団PR、選挙啓発も



県警音楽隊のみなさんにご無理申し上げます



70店もの露店で賑わいました

高校生の頑張り！ あいがとう

立誠舎で高校生そうあん塾

八高生が先生 小学生が生徒

●「かさをさす。さすという漢字はどう書くの？」(小5ドリル)、小学生の質問に先生役の高校生がたじたじ。「さす？」「指すかな？違うな」。迷わず書けますか？。スマホやパソコンでそれらしい漢字の変換は出来るが、手で書くことが少なくなっている私も「ん？」。正解は「差す」。

●諏訪町の高台にある「立誠舎」で7月24日(水)、26日(金)の二日間「高校生そうあん塾」がありました。

●「立誠舎」は但馬聖人と言われた池田草庵が初めて開いた漢学塾。草庵は、ここで31歳から4年間「立誠舎」の塾長となり、そのあと出生地の宿南で「青溪書院」を開き、多くの門下生を送り出しています。

●草庵が明治11年66歳で亡くなったあと、若者たちが青溪書院で学ぶことが出来ず、草庵の門下生たちは、明治21年に八鹿に私立の「山陰義塾」を開いています。それがやがて「県立蚕業学校」に受け継がれ、現在の「八鹿高校」「但馬農業高校」へとつながっています。

●こうした八鹿の地にある「教育」の精神が、高校生による夏休み「そうあん塾」、今年で6年目です。

●今年は小学生37人、高校生13人、小学校・高等学校教師、自治協スタッフなど総勢60人近くになり会場の立誠舎は2台のクーラーも役が立たない状態、このため2日目会場は「ふれあい倶楽部」に移しました。



PTCA事業でまつりゴミ拾い

●まつりのあと、街中、道路、駐車場、空き地、河川敷などゴミが散乱。高校生のみなさんが地域行事に参加しながら地域住民との協働のPTCA事業。7月15日(月)、高校生、教師、保護者、地域の大勢のみなさんで一斉にゴミ拾いで町をきれいにしていただきました。ありがとうございました。爆発せずに落ちていた花火玉も拾いました・・・！！。PTCAとは PTA+C(地域コミュニティ)のことです。



立誠舎はここです
↓

これは山陰義塾碑 小学校体育館前



ゲンゼ前の高台 石段上がります



八鹿の夏の原風景に思わずパキリ。鳥(しろさぎ)に先取りされて・・・さっぱりだそうです。

9月 ふれあい喫茶は9/21です ふれあい手芸は9/2です